



平成29年9月10日(日)

# 道民森づくり



## ネットの集い 2017

北海道木育フェスタ 2017



活動記録ファイルと「もりのとも通信」

北海道森林管理局と北海道森と緑の会などが主催する「道民森づくりネットワークの集い 2017」が北海道開拓の村(野幌森林公園)で開催され、秋晴れの中、多くの道民が森づくりに関わるNPOや林業関連の行政機関等 33団体が木や森に関する様々なブース「森のテント村」を出品しました。

当会からは、会員の川原さんの愛用車「軽四輪ボックス車のキャビンに木材を活用した登山用キャンパー」の展示と「さっぽろふるさとの森づくり」のポスターと活動記録ファイルを掲示し「もりのとも通信」(2017年版)のチラシ配布による広報活動を行いました。

興味深く立ち寄られた家族づれからの「工作予算はどのくらいかかりましたか?」炊事用具の収納から簡易テーブルに携帯用椅子、寝袋も用意され、早速乗り込んで寝ごちを体験し興奮気味。「まさに走るホテルみたい。」の問いかけに「夫婦で屋久島まで行ってきました。」と笑顔で気さくに答えていたのが印象的でした。(矢島 漣)



川原さんの愛用車「軽四輪ボックス車のキャビンに木材を活用した登山用キャンパー」

小林会長の提案で「木材を活用したキャンパー」とのテーマで私の愛車(軽ワンボックス貨物車)を出展させて頂きました。非常に粗末な代物で気が進まなかったのですが、車中泊経験者には評判が良かったようです。子供たちは寝袋にもぐり込んで楽しんでいました。私のワンボックス車中泊は39歳で脱サラした時から楽しんでいたので、もう33年も続けています。就寝スペースは幅130cm、長さ190cmで大人2名と子ども1名がゆったり使えます。長期の山旅には最適で止められません。この次の出展では、子供達がさらに喜びそうなアイデアを企画していきます!(川原 邦孝)



多くの道民で賑わった道民森づくりの集い

### 2018年 活動企画委員会

日時 平成30年1月21日(日) 13:30~15:30

札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ 2階会議コーナー



お知らせ



森と楽しくふれあおう! 森とつながろう!

# 「みんなで健やかな社会貢献活動」

NPO法人 森林遊びサポートセンター  
札幌 森友会  
代表 小林 文男

私どもの2017年の実践活動も10月末を以って無事終了いたしました。

今年の活動テーマは「みんな健やか社会貢献活動」とし、森づくりから子供たちの森林環境教育体験指導や、多様な自然ふれあい等に取り組んでまいりました。

活動にあたっては、会員皆さんの協力と関係各位のご指導ご支援により、活動回数延45回で延960人の参加をいただきながら無事終了できましたことを厚くお礼を申し上げます。

## 1 活動の振り返り

夏季活動始めの5月には、一般社団法人全国林業改良普及協会主催「第51回林業関係広報コンクール」においての入賞や、6月には元林野庁長官の伴 次雄先生を迎えて「森からの恵みと課題」をテーマに特別講演等を開催しました。

さて、今年の活動は「森づくり」では北海道植樹祭等6地域延11回、「子供環境教育指導」小学校林2校で延11回、草の大地を歩く・北根室ランチュウェイ」第2・4ステージを抜き歩き等登山・自然ふれあい含めて延9回、「草花の

育て親塾」や札幌市保養センターとの「こまおかの自然を知る」協働等延13回と、5年ごとに行われる「北海道フラワースン」は今年で第5回目参加を含めて延45回の活動をしました。

森林づくりでは国有林3ヶ所・道有林1ヶ所・都市環境林(緑地含む)2ヶ所・学校林2ヶ所等で植樹・下刈・除伐の実践と森の学習等を行い、それぞれの実践体験や学習から森林や自然環境を大切にする活動に取り組んでまいりました。

「子供環境教育指導」活動には、緑の募金中央事業からの交付金をいただき所定の活動を円滑に実施できましたことを厚くお礼を申し上げます。

## 2 これからの取り組み!

2017年活動も無事終了してほっと一息ついたと思う間もなく、2018年活動計画策定の始まりです。さて、今まで継続していた国有林3地域と北海道記念植樹の森の活動協定が2017

年で終了し、2018年からは学校林での森林環境教育指導の継続活動や、新たに札幌市の「地域連携推進事業」参加等と、11月26日の企画会議の趣旨を踏まえながら、いろいろな情報や社会のニーズを把握し、当センターの身の丈に相應しい活動を組み立ててまいります。

## 活動計画作成方針

○森を守り育てる林業実践活動とさわやか森遊び!

○なつかしの小径をゆく「フットバスウォークとウォーキング」で地域おこし参加!

○学校林で子供たちと森づくり・森や木々の学習!

○他団体・地域等との協働による地域おこし!

○健やか登山や自然ふれあいを楽しみながら、健康と生き甲斐の増進!

以上の実践活動から「高齢化社会の生き甲斐づくり」、「子どもたちの環境教育」、「他団体・地域等と協働で地域おこし」等で社会貢献にみんなで力を結集して頑張ってまいります。

これから2018年に向けて、みな様には十分な休養と健康管理を行いながら、新春には元氣一杯で再会し、この活動にげんきで参加されるように期待しております。